

会員向け無料セミナー
令和8年度
第1回知財勉強会

共催
京都発明協会
大阪発明協会

ビデオゲーム技術の 国際特許戦略

— 日本出願を起点とする日米欧実務対応 —

概要

特許としてどこまで保護できるかは国・地域によって大きく異なります。

日米欧における特許要件の違いとは？
出願・明細書作成上の具体的ポイントとは？

比較特許法を専門とする研究者が日米欧の判例を紹介し、日本弁理士、米国特許弁護士が、それぞれの立場から、実務経験と判例を基にした明細書作成と権利行使の実践的な知見を提供します。

日時

令和8年
7月1日(水)
14:30 ~ 16:00

参加費

会 員： 無料 (京都発明協会・大阪発明協会)
非会員： 有料 (8,800円 税込み)
※会員優先のため、定員に満たない場合のみご参加いただけます

講師

- ・ **竹中俊子氏**
ニューヨーク州 弁護士
米国ワシントン大学ロースクール 教授
立教大学法学部国際ビジネス法学科
客員教授
- ・ **佐藤 睦氏**
TMI総合法律事務所
シリコンバレーオフィス パートナー弁理士
- ・ **Shoko Leek氏**
Seed IP Law Group 事務所
パートナー 米国特許弁護士

形式・定員

オンライン (Zoom利用予定)

100名 (先着順・定員になり次第、締め切り)

申込方法

web申込フォームから
お申込みください

申込締切：6月26日(金)



【お問い合わせ】 一般社団法人 京都発明協会

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134 京都リサーチパーク内京都府産業支援センター 2階
TEL 075-315-8686 MAIL hatsumei@ninus.ocn.ne.jp



セミナー概要

ビデオゲーム関連技術は、日本のコンテンツ産業を支える重要分野である一方、特許としてどこまで保護できるかは国・地域によって大きく異なります。特に、ゲームの仕組みや情報処理に関する発明については、日本では比較的柔軟に特許が認められるのに対し、アメリカや欧州では「技術性」のハードルが高く、同じ出願内容でも結論が分かれることが少なくありません。

本セミナーでは、ビデオゲーム発明を実際に「権利化する」視点から、日米欧における特許要件の違いと、それを踏まえた出願・明細書作成上の具体的なポイントを解説します。

アメリカにおける特許適格性 (Eligibility)、欧州 (EPC) における進歩性 (Inventive Step) の判断枠組みを、日本の実務と対比しながら、日本出願をどのようにグローバル展開すべきかを検討していきます。

比較特許法を専門とする研究者が日米欧の判例を紹介し、日本弁理士、米国特許弁護士が、それぞれの立場から、実務経験と判例を基にした明細書作成と権利行使の実践的な知見を提供します。

弁理士および企業の特許担当者が、ゲーム関連発明を国際的に保護するための判断軸と実務対応を整理する良い機会ですので、奮ってご参加ください。



講師紹介



竹中俊子氏

米国ワシントン大学ロースクール 教授
立教大学法学部国際ビジネス法学科 客員教授
ニューヨーク州 弁護士

米国シアトルのワシントン大学ロースクールのワシントンリサーチフロンティア/W. ハンターシンブソン技術法教授の称号を持つフェニクス正教授。2016年から2023年までジョイントアポイントメントにより、慶應義塾大学大学院法務研究科の専任教授として知的財産権科目を担当した後、2024年4月からは、引き続きUWとのジョイントアポイントメントで立教大学法学部の招聘客員教授として知的財産科目を担当。シアトルのSeed IP Law Groupに顧問、TMI総合法律事務所に客員米国弁護士として所属。毎年、リヨン川大学で比較知財法を集中講義で教えるとともに、東京科学大学、大阪工業大学の客員教授を務める。ミュンヘン工科大学では、2016年～2018年に知財管理の講座を担当し、その貢献により2018年12月にTUMアンバサダーの称号を授与される。2003年から2015年までワシントン大学ロースクールの先端知財研究所 (CASRIP) の所長を務める。アメリカ、ヨーロッパおよび日本の特許制度を比較する著書多数。2020年より内閣府知財戦略本部の構想委員会、2020年より特許庁の産業構造審議会知的財産分科会の委員を務める。



佐藤睦氏

TMI総合法律事務所
シリコンバレーオフィス
パートナー弁理士

日米で半導体関連研究開発に従事後、20年以上にわたり、特許関連業務に従事。担当した業務は多岐にわたり、特許出願は数千件、特許訴訟は約100件に上る。10年以上、米国のパテントプールの鑑定人を務め、約1,000件の特許について標準必須性の鑑定評価を実施。コーネル大学経営大学院では、Entrepreneurship and Private Equityを専攻。在学中に、Intellectual Ventures等の日米の特許ファンドにおいて、特許のファイナンス業務に携わった経験も持つ。



Shoko Leek 氏

Seed IP Law Group 事務所
パートナー 米国特許弁護士

専門分野：
電子機器、通信、医療機器、計測機器、ソフトウェア
主な業務は、新規出願作成、米国特許庁でのオフィスアクション対応、再審査 (Reexamination) 対応、特許ライセンス交渉、侵害・無効鑑定書作成、特許侵害訴訟サポート等である。

米国ワシントン大学ロースクール 卒業
米国ワシントン大学物理学科にて学士号取得
早稲田大学政治経済学科にて学士号取得